

2018-2 平群町更生保護女性会平群支部での講座

4月16日(月)に、平群町更生保護女性会平群支部で、「みんなで防ごう消費者トラブル」という講座を実施しました。(場所:プリズムめぐり)団体は、平群町内で社会を明るくするためにボランティア活動をされています。この日は総会後の講演会として、消費生活相談員が講座を行いました。30名程の参加があり、終始熱心に話を聞いておられました。

講座では、まず消費生活相談は全国で80万件を超えており、奈良県内では平成28年度で約1万件の相談が寄せられていること、消費者被害額を試算すると年間4兆円(消費者庁試算)にもものぼることを話しますと驚きの声があがっていました。

特にシニア世代にトラブルが多く発生していることを伝え、具体的な事例を紹介しながら、注意を呼びかけました。最近多いのは、ハガキによる架空請求です。10年以上前からありますが、ここ1~2年県内で相談が増えていると話しますと、会場の数名の人から受け取ったことがあるという声がありました。

最近では、架空請求や振り込み詐欺でお金を払う時には、銀行口座への振り込みではなく、コンビニエンスストアでの支払いが指定されたり、販売されているプリペイド式の電子マネーが使われることがあります。プリペイドカードの実物を見ていただきながら手口を説明しました。

また、訪問販売のトラブルを実感してもらうために、点検商法について映像を見て、トラブル防止意識を高めていただきました。訪問販売を断りたい場合は、「お断りシール」を玄関に貼る方法があると紹介し、県作成のシールを配布しました。

講座の後で、自分の身に思い当たることが多い話だった、居住地の自治会でも講座をしてほしいなどの感想をいただきました。